

九州自閉症協議会

第24回大会 in 大分

障がいのある人もない人も 安心して心豊かに暮らせる社会づくり

2021年6月27日(日)

iichiko 総合文化センター 音の泉ホール

6月27日(日) 9:00 受付

- 基調講演「困難な状況になってもきっとなんとかなる~できることはゼロではない~」
講師：加藤 潔氏（はるにれの里）
- リレー講演Ⅰ「大分県発達障がい者支援専門員による支援ネットワーク作り」
講師：相本 雄一郎氏（大分県発達障がい者支援専門員の会）
- リレー講演Ⅱ「当事者に聞く、今までとこれから」
講師：当事者と 田中 秀征氏（大分県発達障がい者支援センター）
- リレー講演Ⅲ「条例づくりから始まる社会づくり」
講師：平野 互（大分県自閉症協会 会長）

※講演内容や時間等については、今後変更となる可能性があります。

[主催] 九州自閉症協議会、大分県自閉症協会

[後援] 大分県、大分市、大分県教育委員会、大分市教育委員会、
大分県社会福祉協議会、大分市社会福祉協議会、

おおいた障がい者芸術文化支援センター、大分県発達障がい者支援センターECOAL(イコール)、
大分合同新聞、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、
エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム、一般社団法人日本自閉症協会

九州自閉症協議会 第24回大会 in 大分

大会テーマ： **障がいのある人もない人も安心して心豊かに暮らせる社会づくり**

九州自閉症協議会は、一般社団法人・日本自閉症協会に加盟する九州・沖縄各県の自閉症協会で構成されています。二年ごとに持ち回りで大会が開かれており、2021年度は大分県での開催となります。自閉症スペクトラム障がいのある人は、認知や感覚に偏りがあり、日常生活での困難だけでなく、周囲の人との関係や障がい特性の理解しにくさなどのために、社会の中で様々な「生きづらさ」を抱えています。今日、このような「生きづらさ」は、障がいのある個人の問題よりも社会のあり方の問題と考えられるようになってきました。この大会では、だれもが安心して暮らせる社会づくりについて考える機会となることを願い、基調講演のほか、当事者のお話と大分での取り組みを紹介するリレー講演を行います。コロナ禍のために懇親会は取りやめざるをえませんが、大会はしっかり予防策を講じて開催したいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

■開催日：2021年6月27日(日)

■会場：iichiko 総合文化センター 音の泉ホール (〒870-0029 大分市高砂町 2-33)

■大会参加費：一般 2,000 円、大分県自閉症協会会員 無料

※本大会でのお子様のお預かり・余暇活動は実施いたしません。

6月27日(日) 9:00 受付開始 (iichiko 総合文化センター4階)

●9:30～10:10 **開会式**

●10:10～12:00 **基調講演**

演題：「**困難な状況になってもきっとなんとかなる～できることはゼロではない～**」

講師：**加藤 潔氏 (はるにれの里)**

自閉症の人たちは少数派の苦勞を抱えて生きていると思います。少数派であるために多数派社会とうまく折り合うことができずに困難な状況に陥ってしまうこともあります。それは、ご本人もご家族も周囲の支援者も苦しい状況なのですが、できることはゼロではないし、きっとなんとかなると思っています。今回は、強度行動障害、ひきこもり、家庭内暴力等に焦点を当てながらお話しますが、少しでも前向きな気持ちになれるような話になればと思っています。

●12:00～13:00 **休憩**

会場内は飲食禁止です。

●13:00～14:00 **リレー講演Ⅰ**

演題：「**大分県発達障がい者支援専門員による支援ネットワーク作り**」

講師：**相本 雄一郎氏（大分県発達障がい者支援専門員の会）**

大分県では、大分県発達障がい者支援センター連絡協議会が主催となって大分県発達障がい者支援専門員という専門家を養成しています。現在 300 名以上の方が修了され、県内各地で活躍しています。研修修了後も大分県発達障がい者支援専門員の会という有志の会を立ち上げ、各圏域ごとに活動し、ネットワークを作り、大分県内の発達障がい支援に貢献しています。

●14:00～15:00 **リレー講演Ⅱ**

演題：「**当事者に聞く、今までとこれから**」

講師：**当事者と 田中 秀征氏（大分県発達障がい者支援センター）**

当事者 2 名にいろいろな質問を投げかけ、当事者のリアルな声を皆様にお届けします。

●15:00～16:00 **リレー講演Ⅲ**

演題：「**条例づくりから始まる社会づくり**」

講師：**平野 互（大分県自閉症協会 会長）**

発達障がい児・者の抱える「生きづらさ」の多くは、学校や職場、地域社会など環境の側に大きな課題があり、問題解決に「合理的配慮」の提供が不可欠です。大分県では、障がいによる差別の解消を目指して、障がい当事者の声に基づく「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例」が制定されています。条例の意義や込められた願いを通して、障がいがあっても安心して暮らせる社会づくりについて考えます。

●16:00～16:30 **閉会式**

本大会の総括を行い、次回大会開催予定の鹿児島県よりご挨拶をいただく予定です。

